

2020 北海道特別支援教育研究協議会

# 北特研だより

第1号 令和2年6月 18日

発行 北特研総括事務局

北海道札幌稲穂高等支援学校

電話 011-695-6922

「皆様方との再会を期して」

北海道特別支援教育研究協議会 会長 木村 誠  
(北海道札幌稲穂高等支援学校 校長)

昨年度北特研では、第19次研究主題に「自分らしく生きるために、主体的・対話的で深い学びを通じた指導の在り方はいかにあるべきか」を掲げ、全道4つの地区（札幌、七飯、小平、紋別）において研究大会を開催いたしました。

各地区の報告によりますと、新学習指導要領が求める授業改善の方向性やカリキュラム・マネジメントの重要性等について研修を深めるとともに、部会協議における実践交流を通して、「深い学びにつながる学習の在り方」や「効果的な指導の手立て」、「指導計画の充実に向けたポイント」等、より具体的な授業改善の方法・在り方について協議を深めるなど、主題に迫る大変有意義な研究大会であったことなどが報告されております。各地区の充実した研究大会開催に当たり、運営・推進に当たられた会員スタッフの皆様、並びにご参加いただいた皆様方には心より感謝申し上げます。

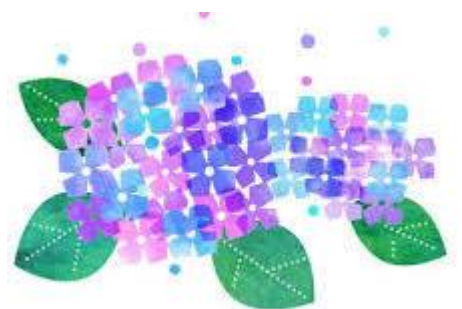
さて本年、第19次研究の2年目を迎えたところですが、人類は今、新型コロナウイルスという未知なる脅威と相対し、その存続に向けた大きな試練に立ち向かっています。ウイルスの終息まで全く見通しの利かない最大級の試練を、今こそ私たちは、人類の英知を結集して乗り越えて行かなければなりません。学校教育がこれまで培ってきた生きる力が試される時ではないでしょうか。

現在、北海道における新型コロナウイルスによる感染症拡大状況は、日々の数的状況に一定の成果が認められ学校再開が果たされたものの、事態収束への見通しが立たず、未だ予断を許さない状況であります。このような中、本会は、7月28日、29日に開催を予定していた「第42回北特研全道研究大会（札幌稲穂大会）」を中止とすることを決定いたしました。北特研の研修事業にとって全道研究大会は、2年に一度の最も大きな事業であり、日常の実践研究について、会員の皆様が一堂に会して交流し、学び合う場として大変貴重な機会であります。これまで全道大会の開催準備を整え、各理事校を始めとする会員の皆様方がさまざまな協議に参加し、ご協力くださる中で中止決定は残念でなりません。

しかし、会員の皆様方、お一人お一人の健康・安全を第一に考えるとともに、今後学校には、再開後の教育活動の立て直しや予防策の徹底などに専念することが求められることから、これらの状況を考慮した結果、中止という判断に至りました。大変遺憾ではありますが、新型コロナウイルスによる感染症拡大防止に専念するという社会全体の要請に応えるための措置であることを、何卒、ご理解くださいますようお願い申し上げます。この上は、子供たちの明るく豊かな未来を切り拓いて行くためにも、一日も早く安心・安全な学校を取り戻し、新しい時代を見据えた教育活動の充実に邁進できることを切に願うものです。

今年度、総括事務局として、第19次研究2年目の十分な研修事業を展開することができませんが、会員の皆様方との再会を期して、本会の運営基盤の維持と、次年度へ向けた円滑な引き継ぎを進めて参りたいと思います。

会員の皆様、並びに、ご関係の皆様におかれましては、今後とも、本研究協議会へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます



## 報告 役員研究協議会（令和2年6月5日 書面協議にて実施）

■今年度の事業計画と会計予算計画が承認され、会の活動がスタートしました！！

○令和2年度 事業計画、会計予算計画 → 承認

○研修会助成金補助、会員研究助成金は、今年度は事業中止

○全特連功労者表彰候補者に、木村 誠 本会会長（札幌稲穂高等支援学校長）を推薦決定。

※事業計画、予算計画その他について詳細は総会（書面実施）にて総括事務局より報告します。

## 北特研総括事務局からのお知らせ

### ☆今年度の会員募集について

別記のとおり、会員募集が終了し 704名の会員数となりました。今年度は大幅な事業中止に伴い、会費を無料として会員を募集させていただきましたが、多数の方にご協力をいただきありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

### ☆北特研だよりへの投稿を募集します！

今年度は大会が中止となったことから、会員の皆様からの投稿を募集いたします。実践報告や校内研究の取り組みなど、ぜひ北特研だよりでご紹介させてください！！

費用がかからない方法で今後も情報発信をできればと考えておりますので、ぜひご協力よろしくお願いいたします。

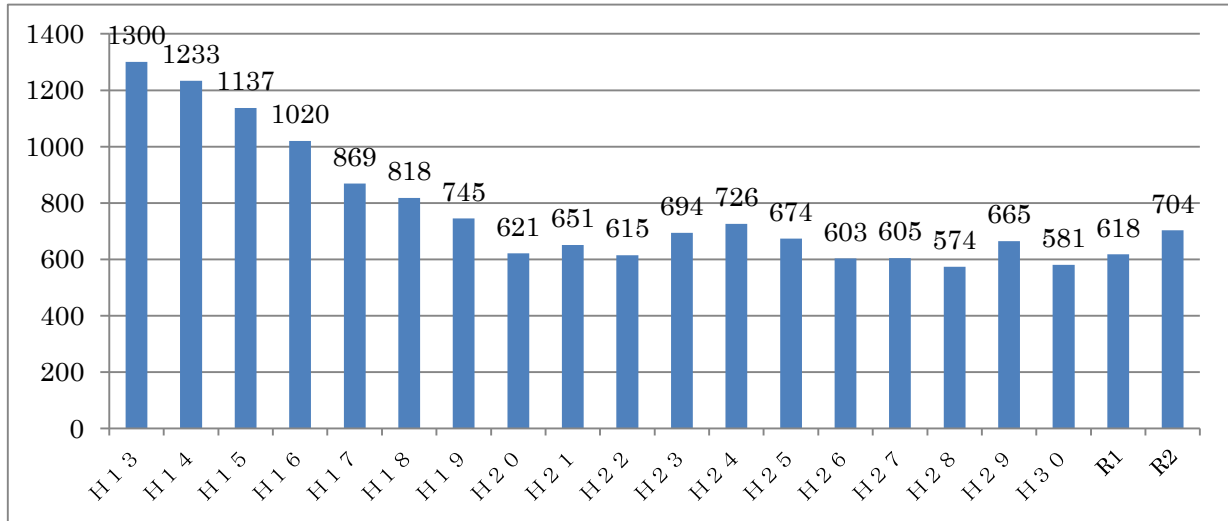
### ☆北特研総会について

全道大会が中止となったことから、総会についても書面にて行います。

7月に各校へ総会議案書及び研究大会の手引きを送信いたしますので、別途返信用紙にてご協議いただく予定です。ご協力よろしくお願いいたします。

# 報告

北特研の今年度の会員 704 名 (令和2年6月16日現在)



平成	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年
1300	1233	1137	1020	869	818	745	621	651	615	694	726	674	603

平成	28年	29年	30年	令和	
605	574	665	581	元年	2年
				610	<b>704名</b>

平成13年度の1300名をピークに、ここ数年会員の減少傾向が続いています。

令和2年度は6月現在 **704** 名です。

傾向としては、全国大会が北海道で行われた年（平成13年、平成24年）は、増加傾向が見られたり、地区大会の年は会員が増加し、地区大会のない年（全道大会のある年）は減少したりするようです。

いずれにしても、今後とも会員の皆さんのニーズを把握しながら「魅力ある北特研づくり」への創意工夫を会員の皆さんと共に続けていきたいと思っております。

